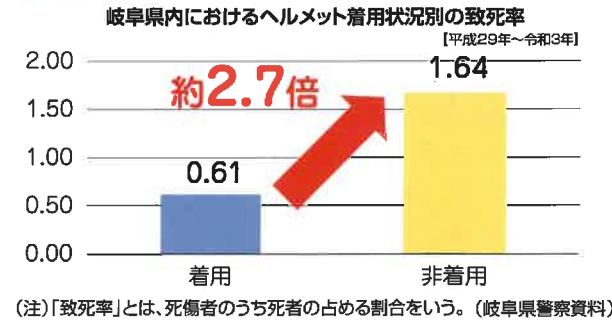


岐阜県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例

10月 備えて安心
から 自転車損害賠償責任保険等の加入義務化

坂道を下ってきた小学5年生の自転車が歩行中の女性と正面衝突…
歩行者の女性は意識が戻らない重症を負いました。
監督責任を問われた保護者に
約9,500万円の支払い命令が出されました。
(神戸地方裁判所、平成25年7月4日判決)

10月 命を守る
から ヘルメットの着用努力義務



一般財団法人 岐阜県交通安全協会 第13回 こあんちゃん交通安全クイズ

正解者の中から抽選で**200名**様に、**1,000円**分の**図書カードNEXT**をプレゼント!

第1問	自転車用ヘルメットの安全性についてです。 ヘルメットを被っていない場合の交通事故での致死率は、被っていた場合の何倍でしょうか。 (岐阜県:平成29年～令和3年までの過去5年間)
	① 約1.2倍 ② 約2.1倍 ③ 約2.7倍
第2問	車で横断歩道の手前に来たとき、横断しようとしている歩行者がいます。 車の運転者の行動として正しいのはどれでしょうか。
	① 停止して歩行者に横断してもらう ② 減速してから通過する ③ そのまま先に通過する
第3問	横断歩道の手前には、その先に横断歩道があることを示すマークがあります。 その形はどれでしょうか。
	① ○(通称:まるマーク) ② □(通称:しかくマーク) ③ ◇(通称:ダイヤマーク)

【応募資格】岐阜県内にお住まいの方
【応募方法】郵便はがきに、クイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上、
下記宛先までご応募ください。当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。
【宛先】〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 一般財団法人岐阜県交通安全協会「交通安全クイズ係」
【締切】令和4年7月20日(水)*当日消印有効

交通遺児激励金へのご寄附のお願い

岐阜県では、皆様からの善意のご寄附をもとに、毎年5月5日のこどもの日に合わせ、県内にお住まいの交通遺児の方々に対して激励金を支給しています。趣旨に賛同いただき、ご寄附をくださる方は、**岐阜県環境生活部県民生活課**(TEL 058-272-8205)までご連絡ください。

ご寄附いただきました皆様、誠にありがとうございました。(令和3年度中:順不同、敬称略)

脇若保雄/(一社)岐阜県道路交通安全施設業協会/(特非)ぎふ長良川走ろう会/Dream Power 実行委員会/YuYu倶楽部/森下美津代/中濃消防組合交通安全青年部会/岐阜県民共済協同組合/(一社)岐阜県自動車会議所/田中英次/井本剛司/全国共済農業協同組合連合会岐阜県支部/その他匿名4名

令和4年 夏の交通安全県民運動



実施期間
7月11日(日)から7月20日(水)まで

思いやりゆずりあう心で夏の事故防止

令和3年度JA共済小・中学生交通安全ホスターコンクール
JA共済連岐阜連岐阜連交通安全委員会会長賞 優良 大垣市立静里小学校3年生 和田愛菜さんの作品

運動の重点

- ・ 子供、高齢者の交通事故防止と自転車の安全利用の促進
- ・ 横断歩道における歩行者最優先の徹底
- ・ 全ての座席のシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底
- ・ 飲酒運転等の危険運転の根絶



令和4年 夏の交通安全県民運動の実施要綱(要旨)



1 目的

夏を迎え、日照時間を避けた夜間の外出や、行楽期における運転機会の増加など、車と人との交錯が増え、交通事故の危険性が高くなることが予想されます。

県民一人ひとりが交通ルールを遵守し、思いやりやゆずりあいの心を持って交通マナーを実践することにより、交通事故の防止を図ることを目的としています。

2 重点の趣旨

- 令和3年中の子供(中学生以下)の交通死亡事故はありませんでしたが、負傷者数は215人(前年比-32人)でした。
これは、1か月だけで約20人もの子供が交通事故でけがをしていることとなり、道路において子供が危険にさらされていることを示しています。
また、昨年中の高齢者の交通事故死者は37人(同+14人)で、交通事故死者全体の約6割を高齢者が占めています。
運転者は、子供と高齢者に対する思いやりの意識の醸成を図るとともに、子供と高齢者は、自らの安全を守る交通安全意識を持つことが必要です。
- 昨年の歩行中の交通事故死者は17人(同+4人)で、10人が道路横断中でした。そのうちの4人は、横断歩道横断中であつたことから、運転者は「横断歩道における歩行者最優先」の徹底が必要です。
歩行者も、道路横断時の安全確認の励行など、自分の身を守る行動が必要です。
- シートベルトは、被害の防止と軽減のために必要不可欠ですが、県内の一般道での着用率(令和3年 警察庁及び日本自動車連盟による調査)では、運転席が98.9%、助手席が98.7%に対し、後部座席の着用率は61.5%でした。
昨年の自動車乗車中の死者のうち、シートベルト非着用者は11人で、そのうち10人はシートベルトをしていれば命を落とさなかった可能性があり、シートベルトやチャイルドシートの正しい着用が必要です。
- 重大事故に直結する危険な飲酒運転は、社会から根絶していく必要があります。飲酒運転と同様に、悪質・危険な妨害運転についても、それを許さない環境づくりが必要です。

3 運動の重点に対する推進項目

1 子供、高齢者の交通事故防止と自転車の安全利用の促進

推進項目① 参加・体験・実践型の交通安全教育の推進

シミュレータなどを活用した講座に参加し、道路での危険を予測して回避できるようにしましょう。

推進項目② 交通安全意識の向上

道路の安全な横断、反射材の着用など、交通ルールやマナーの浸透を図りましょう。
通学路では見守り活動を行うなど、家庭・地域ぐるみで交通安全意識の向上を図りましょう。

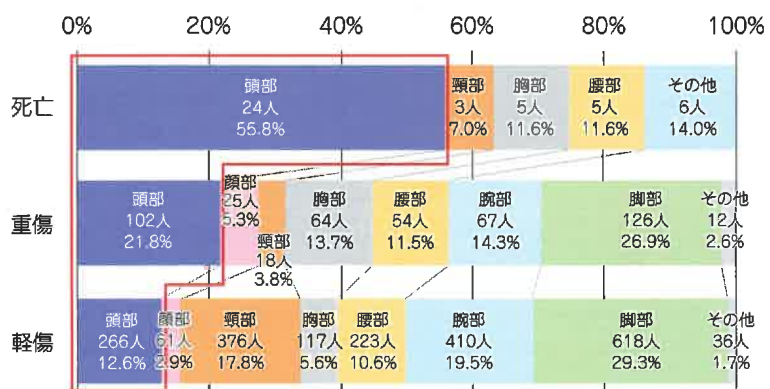
推進項目③ 自転車の安全利用の促進

自転車損害賠償責任保険等に加入して、万が一交通事故を起こした場合に備えましょう。

自転車に乗るときは、ヘルメットを被り、安全を確保しましょう。



岐阜県内におけるヘルメット非着用の自転車乗用中死者・負傷者の人身損傷部位別比較
【平成29年～令和3年】



2 横断歩道における歩行者最優先の徹底

推進項目① 運転者に対する横断歩道等への接近時の義務の周知

横断歩道又は自転車横断帯を示す道路標示「◇:通称ダイヤモンド」に気を向けましょう。
横断している歩行者や横断しようとしている歩行者がある場合は一時停止しましょう。

推進項目② 歩行者の交通安全意識の向上

道路を横断するときは、手を上げるなど、運転者に横断する意思を伝えましょう。



3 全ての座席のシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底

推進項目① 危険性や必要性を示した交通安全教育の推進

シートベルト非着用による車外放出の危険性や、着用の効果を理解しましょう。

推進項目② 機会を捉えたあらゆる方法による啓発活動の推進

各種会合、朝礼などの機会を通じ、シートベルトなどの正しい着用について啓発しましょう。



4 飲酒運転等の危険運転の根絶

推進項目① 飲酒運転を許さない環境づくり

家庭、職場などが一体で「飲酒運転をしない、させない、許さない」環境をつくりましょう。

安全運転管理者を置く事業所を始め、職場にアルコール検知器を備え、活用しましょう。

推進項目② 妨害運転の撲滅に向けた啓発の推進

思いやりやゆずりあいの気持ちを持った運転をしましょう。

被害防止のため、ドライブレコーダをつけましょう。

あおり運転を受けたときは、車外に出ることなく110番通報をしましょう。

地域社会全体で飲酒運転を
① しない ② させない ③ 許さない
環境づくり

